

紙の使用を大幅に削減し グリーン購入も拡大しています

事務・営業部門（オフィス）での環境負荷は生産部門（工場）と比べてそれほど大きくはありませんが、さらなる削減が求められている分野です。宝酒造では2002年度までに10支社及び本社でISO14001の認証を取得し、オフィスにおける環境活動に取り組んでいます。

電気・ごみ・コピー用紙の削減

宝酒造では、電力の削減、コピー用紙の削減、廃棄物の削減とリサイクルをISO14001のオフィス部門の活動目標に掲げて活動を行っています。昼休みや退社時の消灯の徹底や、事務所スペースの集約を行い、経費削減と環境配慮の2つの視点から省エネ活動を行っています。

その結果2004年度のオフィスの電力使用量は、2000年度に比べて27%削減となりました。さらに2007年度までに2004年度比3%削減を目標とし、緑字決算対象項目に設定して活動に取り組んでいます。

オフィスから出るごみについては自治体の定める分別方法を各事業場で実施し、適正に処理しています。

コピー用紙については、1998年から本格的に削減活動をスタートし、業務の効率化と経費削減、環境配慮の視点から活動を進めています。具体的には、両面コピーや裏紙の利用、複合機導入によるスキャナや電子FAX機能の活用のほか、パソコンを使って会議を行うなど、配布資料の削減などにも努めています。その結果、2004年度までに2000年度比25%削減することができました。

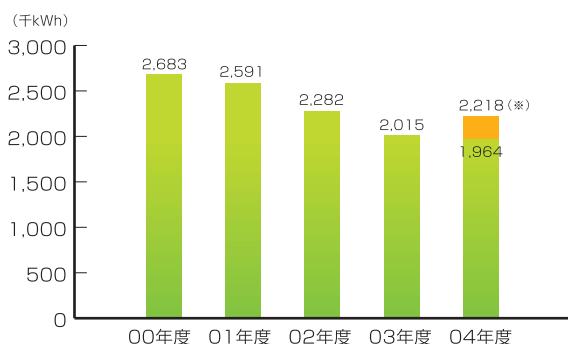
事務用品・営業車・印刷のグリーン購入

第2期緑字決算（2001-2003）では、対象項目に「事務用品のグリーン購入」を掲げ活動を進めてきました。全社共通の購入システムを利用し、担当者に環境配慮型マークがついているものを選択するように教育を行ったり、社内DBなどでの啓発を行った結果、2004年度は全社でグリーン購入率が目標の72%に対して86%となりました。

そこで第3期（2005-2007）は、新たに営業車の低公害車率の向上を目標に掲げ、緑字対象項目としました。2004年度の導入率は44%で、2007年度までに導入率80%を目標としています。また、支社から遠い営業先を訪問する場合は近くまで公共の交通機関を利用したり、安全運転やエコドライブにも心がけています。

そのほかにもTaKaRaグループ企業である宝ネットワークシステム（株）を通じて、環境に配慮したプリンターを優先的に購入したり、当社が発行する商品カタログやアニュアルレポートなどの印刷物に関して、大平印刷（株）から再生紙や環境に配慮した印刷方法の提案を受け、採用するなどグリーン購入を進めています。

■オフィスの電力使用量



※2003年度までは宝酒造（株）単体で報告していましたが、第3期緑字決算の基準値としては、本社事務所と同一ビルに入居している宝ネットワークシステム（株）、（株）トータルマネジメントビジネスを含む数値を使用します。（電力：2,218千kWh、コピー用紙9,331千枚）

■オフィスのコピー用紙使用枚数

